



AFRICANSQUARE CO LTD



【本社】

【東京営業所】

〒350-1172 埼玉県川越市増形3-2

〒141-0031 東京都品川区西五反田7-22-17

TEL・049-241-9186 FAX・049-248-5480

TOC ビル 9F 57号

MAIL・saitama@african-sq.co.jp

TEL・03-3494-8801 FAX・03-3493-5106

<https://www.african-sq.co.jp>

MAIL・toc@african-sq.co.jp

AFRICANSQUARE

facebook

instagram



AFRICANSQUARE.OFFICIAL

【実店舗】

【小売通販ショップ】

MANGOROBE/マンゴロベ 川越店

MANGOROBE/マンゴロベ

〒350-0062 埼玉県川越市元町1-13-6

<https://www.mangorobe.com/>



カサクラ元町1F

TEL・049-277-3853

※火曜定休

MANGOROBE/マンゴロベ 楽天店

<https://www.rakuten.co.jp/af-sq/>



有限会社アフリカンスクエアー

アフリカの魅力を日本に紹介したい。できるだけ多くのアフリカの商品を日本に輸入したい。そういう思いから、1992年5月に有限会社アフリカンスクエアーは生まれました。

実際の生活で使われているかごやバッグ、しっかり織られた手織りの布やカーペット、藍染や泥染めなどの染織、ポップでユニークな置物など、アフリカ各地から個性的なハンディクラフトを輸入しています。また、日本のマーケットを見据え、アフリカの人々とともに、現地の素材や伝統的な方法を活かしたものづくりを行い、オリジナルの商品として紹介しております。

ケニアの無農薬栽培紅茶の輸入から始めた食品は、おいしく安心して食べられる、オーガニックに近いナチュラルなものを探し続けてきました。「アフリカンテーブル」では、マダガスカル製のチョコレート、有機栽培無加糖のドライマンゴー、エチオピアの森に自生するコーヒーなど珍しくおいしい食品を揃えています。

アフリカの風を感じていただける商品を日本のみなさまにご提供することで、アフリカの生産者の支えにもなるような、いい関係を持ち続けていきたいと考えています。

代表取締役 牛尼恭史

会社概要

社 名 有限会社アフリカンスクエアー

代 表 者 代表取締役 牛尼恭史

従 業 員 32名(2020年8月現在)

事 業 所 本社

〒350-1172 埼玉県川越市増形3-2

TEL 049-241-9186 FAX 049-248-5480 E-MAIL saitama@african-sq.co.jp

卸売・小売・商品開発・経理

東京事務所

〒141-0031 東京都品川区西五反田7-22-17 TOCビル9階57号

TEL 03-3494-8801 FAX 03-3493-5106 E-MAIL toc@african-sq.co.jp

卸売ショールーム・小売・商品開発

事業案内 当社はアフリカ産品専門の輸入販売を主たる事業としています。アフリカ各地の優れた商品の開発や生産地の紹介、アフリカ文化の紹介なども行っております。

沿 革 1990年 日本ケニア交友会の関東事務所として、アフリカンスクエアーを開設

1992年5月 有限会社アフリカンスクエアーを設立

2002年3月 東京都五反田TOC9階に東京事務所を開設

2005年8月 インターネット通販ショップの開始

2014年1月 インターネット小売通販ショップ「MANGOROBÉ マンゴロベ」の開始

2015年4月 埼玉県川越市に実店舗「MANGOROBÉ マンゴロベ」をオープン

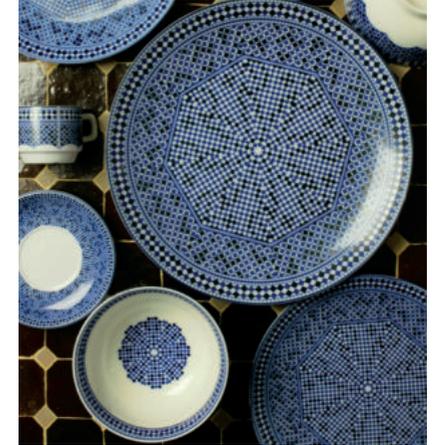


TERRE DES FEMMES - テール・デ・ファム -

古代から村の伝統を守り、営々と作り続けてきたリーフ地方のベルベルの陶器。しかし近代化が進むにつれ徐々に作られなくなり、伝統的な文化が失われる危機がおとずれています。NGO「TERRE DES FEMME (女性の土地)」は、女性の現金収入を増やし、陶器の伝統文化を守るために、伝統陶器の買付とプロモーションを行っています。



Ceramics - 陶器 -



MARATERRE - マラテル -

美しい陶器の街として有名なフェズ。この街の名前がついた伝統的な色彩フェズブルーは、現在ではモロッコ陶器を象徴する色となっています。「マラテル」はこのフェズブルーを活かしたデザインで有名なモロッコ有数の陶器メーカーです。



Babouche
- バブシュー -



Dome Basket
- ドームかご -



Straw Basket
- ストローかご -



Berber Bag
- ベルベル刺繍あずま袋 -

Morocco

アフリカとヨーロッパ、そしてイスラム文化が出会う魅惑の国、モロッコ。

変化に富んだ地形や景色、街ごとに異なる色彩、この国の職人たちが手掛ける工芸品はめくもりを感じる素朴なものから個性的でかわいい雑貨まで多種多様。

かごや皮革製品、キリム、絨毯、陶器、銅食器、木工製品、ガラス製品、ランプ、モザイク……

モロッコには日々の生活に「いりどり」を添える魅力的なアイテムが自白押しです。



Dome Stool
- ドーム木椅子 -



Pouf
- プフ (革製クッション / スツール) -



Wooden Table
- 木製テーブル -



Lamp
- ランプ -



Olive -オリーブ-

オリーブの木は硬くて丈夫。その理由はとてもゆるやかな成長スピードにあります。くねくねと曲がりながら育ったチュニジアのオリーブの木目は、非常にダイナミックで美しい模様となります。

油分が多く水分を吸い込むことがほとんどないオリーブは、乾燥が早くお手入れが楽なのも魅力ひとつ。木にはナンバーが付けられ、環境に影響のないようきちんと管理されています。



Basket - ナツメヤシのバスケット -

チュニジアは世界でも有数のデーツ（ナツメヤシの実）の輸出国。葉の部分はバスケットや帽子などの素材としても使われています。ナツメヤシの葉を編んだバスケットはとても軽くてしなやか。



Berber Kilim - ベルベルキリム -

アラビア語で「日が没する地」とよばれる北アフリカ北西部マグリブ諸国に暮らすベルベル人の伝統的な織物。ベルベル人はアラブ人とは違う独自の文化を持ち、幾何学模様、動物、鳥、草花などの独特なモチーフと細かな織り込みが特徴です。砂漠を移動し暮らした遊牧民の生活必需品であるキリム。近年では洗礼されたモダンなデザインのものも出てきています。



Tile - タイル -

CAREAU(カロ)と呼ばれる一枚一枚手描きされた正方形のタイル。チュニジアでは家の外壁や堀、家の中など様々なところで色鮮やかなタイルが使われていて、職人たちが日々技術を競い合っています。



Birdcage - 鳥かご -

モスクを模した鳥かご、白壁と青のドアや窓枠のコントラストが美しい地中海の街、シディ・ブ・サイド (Sidi Bou Said) の工芸品。一つずつ丁寧に手作業で細工されています。



Kanga -カンガ-

腰に巻いたり、赤ん坊をおんぶしたり、ショッピングバッグにしたりと幅広い用途で使用されるカンガ。その使い方は101通りにも及ぶと言われ人々の生活にはなくてはならない存在です。一枚一枚に、ことわざのような気の利いたメッセージ(セイニング)が書かれています。



NATUOMBEANE MEMA BARAKA ZIENEE
-われに幸運よ来たれ-



Acrylic Sisal
-アクリルサイザル-

アクリル毛糸とサイザルで柄を入れたサイザルバッグ。ふんわりとしたテクスチャーでオールシーズンお使いいただけます。



Silver Sisal
-シルバーサイザル-

お菓子の包装に使われているプラスチックの端紙を編みこんだサイザルバッグ。色と素材のおもしろさがポイントです。



Kenya Bags



サイザル麻



サイザル素材



バオバブ染料



Sisal
-サイザル-

重い穀物運ぶために、とびきり丈夫な材料、サイザル麻を使って編まれていたバッグ。編み込む技術は母から娘へと何世代も受け継がれ、雨の少ないカンパランドとよばれる地域で、農閑期に作られてきました。



Baobab
-バオバブ-

バオバブの木の繊維を天然染料で染め、細く撚り上げ編みだか。丈夫なうえ、手触りがやわらかいのが特徴。独特の伝統柄が目目を惹きます。



Banana
-バナナ-

バナナの茎の皮を使用した色合い美しいかごバッグ。独特の柔らかさがあり、サイザルと組み合わせることもできます。



Straw
-ストロー-

パピルスと言われる川沿いに植生する素材を使用したストローかご。どんなお部屋にもじっくり馴染み、持ち運びにも便利。幅広い利用が可能。



Plastic
-プラスチック-

サイザルバスケットの編み技術を新素材で、とのアイデアから生まれたプラスチックビニールのかごバッグ。マットにはサイザルが使用されています。同じデザインのものもなくすべて一点もの。



Recycle
-リサイクル-

使い古したスクールセーターからとったアクリル毛糸を再利用して作ったバッグ。縦糸にはサイザルが使用されています。同じデザインのものもなくすべて一点もの。



Turkana
-トゥルカナ-

ケニア西北部トゥルカナ地方で作られるジグザグ模様が特徴的なバスケット。椰子の葉でしっかりと編みあげられ、丈夫さと光沢感があります。



Uganda
-ウガンダ-

ウガンダのカラフルなカラーと模様が個性的なバスケット。水草にラフィアを巻き付け、全て手作業で編み上げます。果物かごや壁飾りに使われます。



Kenana Knitters - ケナナニッターズ -

現地女性の雇用を生み出すために設立されたケナナニッターズ。今では300人以上の女性が働いており、自前の農園や医療施設を運営できるようになるまでに発展しました。

天然ウール100%でつくられたニット製品は全て一つ一つ現地の女性たちによって手紡ぎ、草木染め、手編みされています。また、草木染めに使用するハーブ(野草)は全て生産農場の庭で育てられたものを使用し、周りの生態系に影響がでないよう配慮されています。

Kenana
Knitter
Criter



Mwanga Basket

-ムワンガバスケット-



とてもしなやかで、美しい繊細な編み目が特徴のタンザニアのかご。乾燥させたラフィア椰子の葉をブレード状に編み、ぐるぐると縫いつけながら仕上げられています。



Iringa Basket

-イリンガバスケット-

タンザニア南部、イリンガ地方で、MILULUという水草から作られているバスケット。ぼってりとした形で、細かい編と模様が特徴です。無地、草木染、透かし編タイプがあります。



Tinga Tinga

-ティンガティンガ-

タンザニア独立直後の1960年代後半から始まった絵画スタイル。創始者であるエドワード・サイーディ・ティンガティンガ氏の名前に由来します。建築用の板ボードに塗装用のペンキで動物たちや人々の暮らしが躍動感あふれるタッチで描かれています。





- ボゴラン -

西アフリカ、マリの泥染め布。

現地語で「ボゴ」は土や地球を、「ラン」は道具や手仕事を意味します。

アフリカの大地と植物の恵みが詰まった染色布は暖かみのある色味や質感が魅力。

迷路のようなモチーフにはお守りとしての意味がありますが、近年では作り手の創造力溢れるものも多く見られます。



Pagne -パーニュー-

西アフリカの国々で使用されている鮮やかで大胆なデザインをプリントした布。現地の女性も素敵にパーニューには目がありません。



Pagne

Batik

Batik -バティック-

インドネシアジャワ島からアフリカに伝わったとされるろうけつ染め。独特のかすれた風合いと色使いが特徴的です。



Traditional Cloth

Traditional Cloth -伝統布-

各地方ではほぼ同様の織機を使用しながらも、得意とする素材や特徴は様々。12～15cm 幅の手織り布は長いもので100mにもなります。



Dogon Straw Basket

- ドゴストローバスケット -



Lobi Basket

- ロビバスケット -



Straw Basket

- ストローバスケット -



Dogon Basket

- ドゴンバスケット -



Djembe

- ジャンベ -



Burkina Basket

-ブルキナバスケット(ボルガバスケット)-

農閑期の手仕事として代々受け継がれてきた伝統的な編み技法。エレファントグラスと呼ばれるイネ科植物の頑丈な茎部分を使用しています。

ガーナ北西部に位置するボルガタンガ地方で編んだかご。持ち手の革は隣国ブルキナファソでつけられます。



Maracas

- ストローがらがら -



Mask

- マスク -



Senegal Basket -セネガルバスケット-



ポップな色使いと個性的なフォルムが大人気のインテリアかご。セネガルに自生する水草にビニールや毛糸素材を編みこみました。

Batika -バティカ-



手軽に遊べるアフリカの楽器。前後に手を振ると遠心力で玉がグルグルと周り、二つの玉がぶつかりカチカチなり出します。実の中のシャカシャカと玉のカチカチが複雑に交わり、絶妙なリズムが奏でられる。

Nylon Bag & Furniture

-ナイロンバッグと家具-



丈夫でカラフルなナイロン紐のマクラメ編みバッグ。爽やかなテイストで夏の装いにピッタリ。



Recycled Goods -リサイクルグッズ-

現金収入を得るための“ゴミ集め”から始まった、リサイクルのムーブメント。モノが少ないところだからこそ生まれた想像力豊かな加工技術です。職人たちの創作の楽しさが伝わるアート作品のような品々をお部屋のアクセントにしてみてもいい。



Papier Mache
-張り子-



Plastic Kettle & Cup
-プラスチックやかんとコップ-



Madagascar -マダガスカル-

インド洋の果て、アフリカ大陸の東に浮かぶ島マダガスカル。
首都アンタナナリブの坂の多い石畳の小道には古いシトロエンが走る。
多くの水牛がたたずむ田んぼの風景がどこまでも広がる。
ここはアフリカの東南アジア。

フランスの統治時代に伝わったクラフトの影響もあり、手先の器用なマダガスカルの人々のかぎ針編みや刺繍がととも得意。
伝統的な工芸技術とフランスのファッションセンスが融合し、ユニークな品々が生まれています。

Raffia -ラフィア-

ファッション性の高い素材として人気のラフィア。主に帽子やバッグに加工されます。
ラフィア椰子の葉の外側の硬い皮を剥き内側の柔らかい繊維だけを取り出すという手間の掛かる作業を経て作られるラフィアは、他の天然素材に比べ、とてもしなやかで独特の光沢があります。使い込むほどにツヤが増す、その過程もお楽しみ下さい。

おしゃべりしながらバッグや帽子を編み上げる手先の器用なマダガスカルの女性たち。
伸縮性のないラフィアをかぎ針編みするためには熟練した技術とたくさんの時間を要します。手間を掛けて編み上げた帽子やバッグは丈夫さが増し、より魅力的で使いやすい商品へと生まれ変わります。かぎ針編みの技法の他にも、ラフィアをテープ状に編む「ラフィアブレード」やシート状に織られた「ラバン」など様々な技法を使っています。





色鮮やかで香り豊かなたくさんの花が咲くマダガスカル。そこに住む人々は、とても陽気で優しく、色彩感覚が豊かです。編みかごやほうきなどの素朴な生活雑貨や空き缶をリサイクルしたおもちゃ、個性的で色とりどりの雑貨は、まさにマダガスカルに住む人々そのもの。どこか懐かしい、素朴で温かみのあるマダガスカルの小物は、インテリアとしてお部屋に自然にとけこみます。



Tin Car
-ブリキ自動車-



Tsihy Box
-チヒボックス-



Watering Can
-ブリキジョウロと水差し-



Rindra Box
-リンダボックス-



Iron Products -鉄製品-

古くなったドラム缶を、広げて切り出し、たいたりくっ付けたり、一つ一つ職人の手によって作られています。サビをキレイに落としてしっかり焼くことで、特徴である黒い色があらわれます。マダガスカルの鉄雑貨は、ワックスで磨き上げられ完成するまでに、たくさんの人の手を通して私たちのもとにやってきます。

South African Goods - 南アフリカの雑貨 -



Zulu Basket
-ズールーバスケット-

南アフリカでは、伝統的なものよりも安くて利便性のある商品が市場に溢れつつあります。人々はだんだんと伝統的なものに手を出さなくなってきている中、伝統を残そうという動きもでてきています。ズールーバスケットもそのひとつです。柄それぞれに意味があり、組み合わせも無限。もちろん全て手編みで仕上げられているため、世界に同じものは2つとしてありません。

リサイクル素材を使用した商品も注目されています。電話線ワイヤーを使った商品やリサイクルビニールを使った動物などはその代表例といえます。南アフリカのクラフト商品の作り手のほとんどは、都会から離れたところに住み、現金収入に限られています。これらの商品は、現地の人々の重要な現金収入源のひとつとなっています。



Telephone Wire Basket
-電話線バスケット-



Recycle Animals
-リサイクル動物-

La Mohair - ラモヘア -

南アフリカの田園地帯、特に乾燥したKaroo地帯や、フリーステート州の南東部には多くのアンゴラ山羊が生息しています。現地でのモヘア生産は19世紀中ごろから徐々に発展しており、今では全世界の生産量の半分以上を占めています。

モヘアの特徴は、半透明で光沢がありコシのある長い繊維。その中でも希少性の高い、アンゴラ山羊の生後6ヶ月から12ヶ月の間に刈り込まれた「キッドモヘア」の毛を使用。滑らかで、透明感があり、やわらかい手触りが楽しめます。

原毛から商品になるまで、洗浄、糸紡ぎ、編み、染色などたくさんの工程すべて、南アフリカの人々によって手作りされています。



Photo : Maiwa

SABAHAR - サバハール -

世界有数のコットンの生産地であり、古くから続く伝統的な手紡ぎと手織りの技術を持つエチオピア。地域によって異なる織りの技法や刺繍のモチーフは、様々な表情を見せてくれます。近年ではその伝統技術を生かし、より洗練されたデザインの製品を作り出しているブランドも現れています。SABAHARとは「シバの女王のシルク」という意味。古王朝で伝統的に使われてたシルクの織物を復活させました。シルク、コットンそれぞれの素材の風合いを生かし、様々なテイストのショールを創作しています。



初期キリスト教の習慣を残す、独特で神秘的な宗教絵画や儀式、教会建築はエチオピアの魅力のひとつ。現在でもエチオピア正教が広く信仰されており、宗教にちなんだ工芸品もたくさん。

Ethiopian Cross

-エチオピアクロス-

地域や教会ごとにそれぞれ違うデザインのクロス(十字架)が存在し、様式化されたデザインはとても独創的です。



Accessories & Beads

-アクセサリとビーズ-

高い彫金技術をもつエチオピアでは、繊細でシンプルなアクセサリをはじめ、金属ビーズなど伝統的な手作りにより味わい深いアクセサリを生み出しています。





AFRICAN TABLE

AFRICAN TABLE / アフリカンテーブル

口に入れた瞬間、あるいはゆっくりと噛みながら味わうと・・・
「あれ、いつも食べているものと少し違うな」と、素材の違いを感じていただけるような、アフリカの自然環境や食文化に想いをはせていただけるような、そんなラインナップを目指してセレクトしています。
それぞれのアレンジを楽しんでいただき、生活のちょっとした彩になる存在でありたいと考えています。

African Tree-to-Bar Chocolate - アフリカのチョコレート -

ショコラマダガスカルはじめ、今注目されているアフリカ産チョコレートを各種取り揃えています。欧米製造のものとは微妙なニュアンスが異なる個性豊かなタブレットや、様々な背景を持ったカカオ豆の違いは、比べただけで非常に奥深い特徴があります。



Wild Coffee and Honey - 自生するコーヒーと蜂蜜の森 -

エチオピア南西部の熱帯林は周辺地域にとって貴重な自然環境であるとともに、アラビカ種の原種に近いコーヒーが自生し、アフリカでも随一の蜂蜜を採る地域です。どちらも一度口にしたら虜になってしまうほどの魅力があります。



Dried Mango - ブルキナファソのドライマンゴー -

西アフリカの内陸国ブルキナファソの生産者から輸入するドライマンゴーは、複雑で野生的な素材の力強さがそのまま凝縮された、他では味わえない隠れた傑作なのではないかと考えています。有機JAS取得原料です。

他にもマダガスカルやウガンダ、ガーナ、トーゴなどからも幅広くドライフルーツを輸入しています。素朴な味わいの中に、原料の滋味深さや恵まれた栽培環境を確かに感じ取ることができます。



Mt. Kenya Tea - ケニア山の紅茶 -

当社アフリカンスクエアは、この紅茶の販売から始まりました。会社を語るうえでも欠かせない定番商品。20年以上続けてくださるリピーターのお客様もいる、飽きのこない味わいです。無農薬栽培で、雑味のないコクと甘みが特徴です。毎年おいしいロットをセレクトしお届けしています。

Others - その他の食品 -

モリンガティーやバオバブフルーツパウダーのようなスーパーフードから、雑穀のクスクスのようなローカルな主食、野生の胡椒などの珍しいスパイス…、試すには少しハードルは高いかもしれませんが、食卓のパーションとして工夫して取り入れるのも、ワクワクするような食品を多数取り扱っています。



※ 詳しくは当社HPまたは「アフリカンテーブル」で検索してみてください。
※ 食品だけでなく、シアバターやアルガンオイルなど、アフリカ産のコスメ関連商品も幅広く取り扱っています。